

2023年3月期 決算説明会

2023年5月26日
綜研化学株式会社

1. 新中期経営計画「Advance 2025」

2. 2023年3月期 連結決算

3. 2024年3月期 業績見通し

2020～22年度 中期経営計画 「New Value 2022」

環境変化に迅速かつ柔軟に対応できる強靱な経営基盤を築き、
新たな事業領域を創出する

◆ 基本戦略

◇ 収益基盤の拡大・強化

◇ 新たな成長基盤の構築

- ① 次世代の柱となる事業領域の創出
- ② 継続的な新規事業の創出体制の構築
- ③ 持続的な成長を支える経営基盤の強化

◆ 数値目標、経営指標（2022年度）

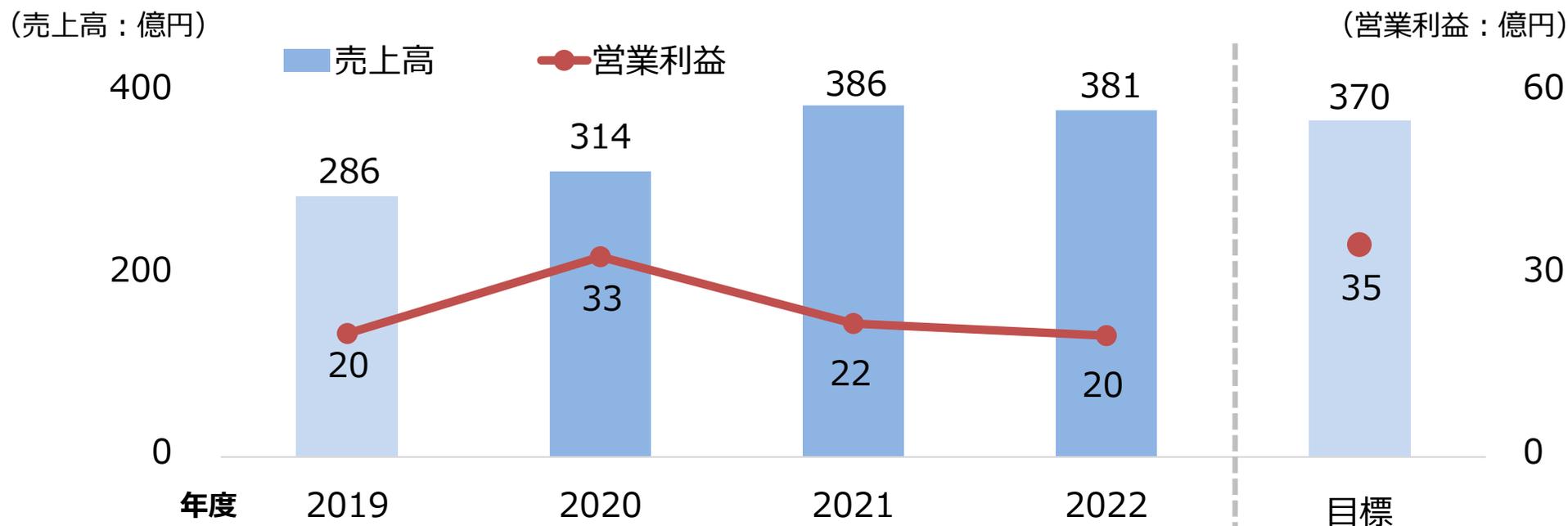
◇ 売上高370億円、営業利益35億円、営業利益率9.5%

◇ ROA 8%以上、ROE 9%以上

◇ 設備投資 70億円（2020～22年度）

※数値目標については、2021年5月14日に上方修正しております
（当初計画：売上高 350億円、営業利益 30億円）

- ◆ コロナ禍での制約、需要変動の影響を受けたが、液晶ディスプレイ関連のシェアアップにより、売上高は目標達成
- ◆ 原材料高騰に対し価格転嫁を進めるも、営業利益は目標を大幅に下回り、営業利益率・ROE等の経営指標も目標水準に至らず
- ◆ 生産設備増強投資等で91億円（3年間）の設備投資を実施



営業利益率 (%)	7.1	10.8	5.8	5.3	9.5%
ROE (%)	7.1	11.2	7.6	4.9	9%以上
ROA (%)	5.2	9.4	6.4	4.7	8%以上
設備投資 (億円)	27	21	32	38	70 (3カ年)

◆ ケミカルズ

粘着剤の液晶ディスプレイ分野でのシェア拡大、加工製品の自動車・電子表示用途等での増販により目標達成も、微粉体・特殊機能材は光学・電子部品など顧客需要の低迷が続き苦戦

◆ 装置システム

コロナ禍での資材調達難等の影響を受けたが、設備診断サービスの拡充などが受注獲得に寄与し目標達成

(億円)

年度	2019	2020	2021	2022	対2019 伸長率	目標	対目標 増減
ケミカルズ	258	282	342	339	+31%	335	+7
粘着剤	160	174	218	222	+39%	210	+14
微粉体	26	28	30	25	-4%	35	-9
特殊機能材	26	30	35	27	+4%	35	-7
加工製品	45	49	58	64	+42%	55	+9
装置システム	28	31	44	41	+46%	35	+7
合計	286	314	386	381	+33%	370	+14

基本戦略	施策・成果	課題
◆収益基盤の拡大・強化	<ul style="list-style-type: none"> 中国液晶ディスプレイ分野での粘着剤シェア拡大 生産・供給能力増強による競争優位性の確保 インドなど未進出国での販売実績獲得 	<ul style="list-style-type: none"> 需要・原材料価格の変動による利益変動リスク低減 生産プロセス合理化等によるコスト競争力強化 地政学リスク等を踏まえた海外事業展開
◆新たな成長基盤の構築 ①次世代の柱となる事業領域の創出	<ul style="list-style-type: none"> 自動車、情報・電子デバイス分野での製品開発、顧客・用途開拓 生合成技術やバイオマス原料の利活用に向けた技術開発推進 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ変化、技術進化に即応可能な組織体制の構築 脱炭素など環境問題に貢献する技術・製品開発力の強化
②継続的な新規事業創出体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 公的機関・スタートアップ企業との協業・提携による企画案件創出 植物由来の抗菌・抗ウイルス材料のサンプル提供開始 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な企画案件創出と事業化実現に向けたマーケティング活動強化
③持続的な成長を支える経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> グローバル人材育成制度の試行 海外事業拡大に応じたコンプライアンス体制構築 	<ul style="list-style-type: none"> グループ経営・高度専門人材の確保・育成 デジタル技術活用による生産性向上

ビジョン

独自の技術・製品開発力を磨き、環境・社会課題の解決を志向した事業領域の創出と事業構造の変革により新たな成長軌道を築き、社会の発展とともに成長し続ける企業集団を目指す

Advance 2025 (2023~25年度 新中期経営計画)

コロナ禍で激変した経営環境に新たな成長の機会を見出し、2030年に目指す姿(ビジョン)の実現に向けて前進する1stステップ

基本方針

収益基盤の維持・拡大と収益性の改善によりキャッシュ創出力を高め、事業ポートフォリオの変革に向けた新たな事業領域の創出に資源を積極投入し、安定的な利益成長の経営基盤を構築する

重点施策

- ◆ 既存事業による安定収益基盤の拡大と収益性改善
- ◆ 事業構造改革に向けた次世代事業領域の創出
- ◆ サステナビリティ経営の推進

◆ 既存事業による安定収益基盤の拡大と収益性改善

- 中国液晶ディスプレイ関連の需要拡大に応じた生産・供給体制の強化と合理化推進
- 自動車、情報・電子デバイスなど成長分野での新たなニーズ獲得に向けた、販売体制の再編、開発テーマ対応力の強化、環境対応製品の拡充

◆ 事業構造改革に向けた次世代事業領域の創出

- 新たな事業領域創出に向けた、非アクリル系製品の開発、バイオマス材料・製品開発の基盤技術の確立、粘着・塗工技術を応用した新技術・製品開発の推進、新規事業開発体制の強化
- 生産性の向上、新製品量産化に向けた、革新的な生産プロセス開発の推進
- 中国に次ぐ新たな海外事業地域の探索と推進体制の構築

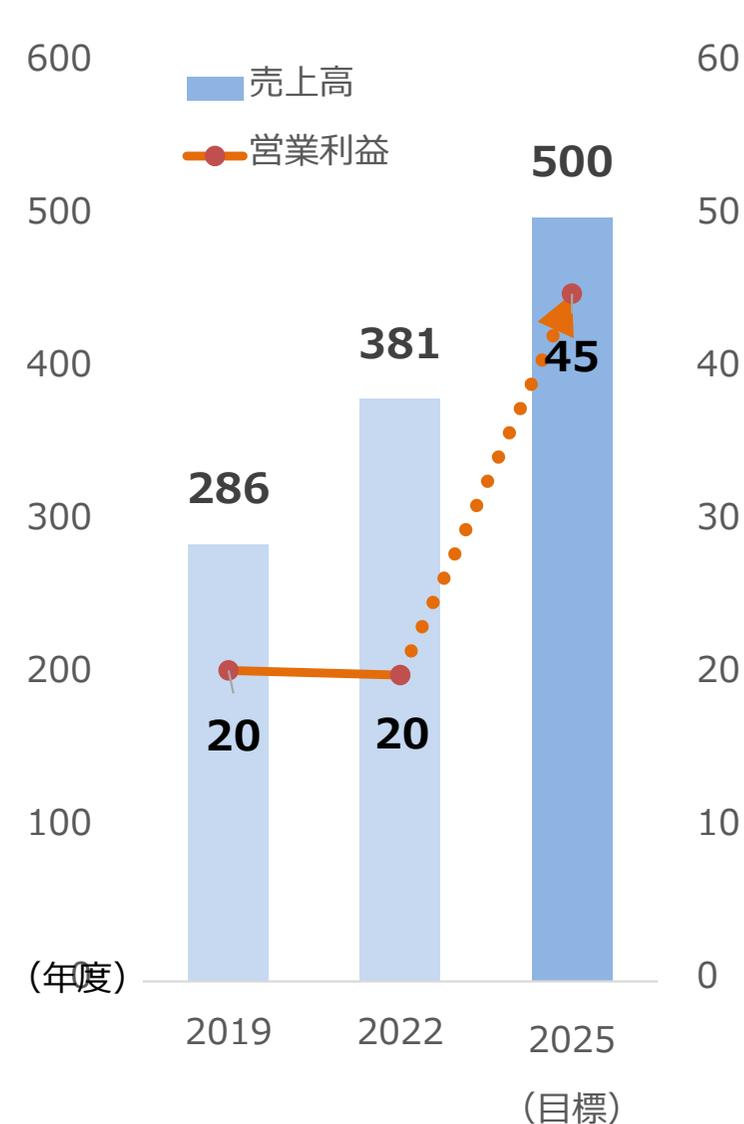
◆ サステナビリティ経営の推進

- 脱炭素化・循環型社会への貢献、安全・品質管理の高度化、人権尊重への対応など、サステナビリティ活動推進体制の整備・構築
- グローバル人材・高度専門人材の育成・確保、多様な人材の活躍・成長を促す人事制度改革
- 環境変化、事業戦略を踏まえたリスク管理・コンプライアンスの強化
- 業務改革に向けたITシステムの基盤整備とデジタル技術の導入推進

Advance 2025 : 数値目標

売上高・利益目標

	(億円)		
	2022年度 実績	2025年度 目標	増減
売上高	381	500	+119
営業利益	20	45	+25
営業利益率	5.3%	9.0%	+3.7pt
ROA	4.7%	7%以上	+2pt以上
ROE	4.9%	9%以上	+4pt以上



投資計画

	(億円)
2023~2025年度 投資総額	200
生産能力増強、設備維持・更新	70
研究・技術開発	35
情報インフラ、環境整備	25
成長投資枠 新規事業・技術開発・海外新規開拓他	70

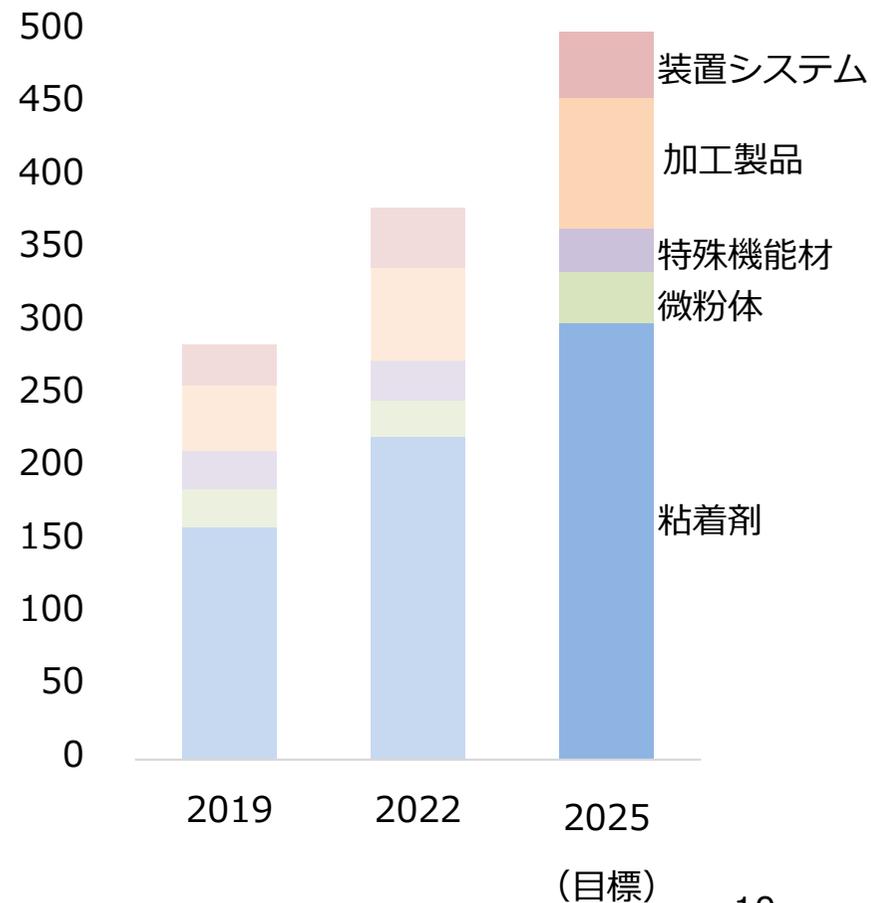
◆ ケミカルズ

- 中国液晶ディスプレイ分野での高シェア維持・拡大、生産性向上による利益改善
- 環境対応製品等の高付加価値製品による新規用途・顧客開拓
- 自動車・情報・電子デバイス分野など中国市場での新規製品の販売・開発体制強化

◆ 装置システム

- メンテナンス・熱媒体油を主軸とした事業構造への転換による収益の安定化、収益性の向上

	2022年度	2025年度 目標	増減	(億円)
ケミカルズ	339	455	+116	
粘着剤	222	300	+78	
微粉体	25	35	+10	
特殊機能材	27	30	+3	
加工製品	64	90	+26	
装置システム	41	45	+4	
合計	381	500	+119	



事業ポートフォリオ改革

安定的な利益成長を実現するために、原材料価格や液晶ディスプレイ需要など業績変動リスクに強い事業構造への転換が不可欠

既存事業の利益成長・最大化を追求するとともに、環境変化に対応する新技術・製品、新規事業により次世代の事業領域を創出する

New Value 2022

収益基盤の拡大
新規領域の探索

設備投資
95億円

Advance 2025

既存事業の安定収益基盤拡大と収益性追求

- ▶ 中国事業の競争力強化
- ▶ 環境対応製品の拡充

次世代事業領域創出の基盤構築

- ▶ 次世代製品の技術基盤確立
- ▶ 新規事業開発体制の強化
- ▶ 革新的生産プロセス開発の推進
- ▶ 新たな海外事業展開の探索

設備投資 130億円 (生産・開発・IT他)

成長投資枠 70億円 (技術獲得・新規事業他)

ビジョン

環境・社会課題の
解決を志向した
事業領域の創出

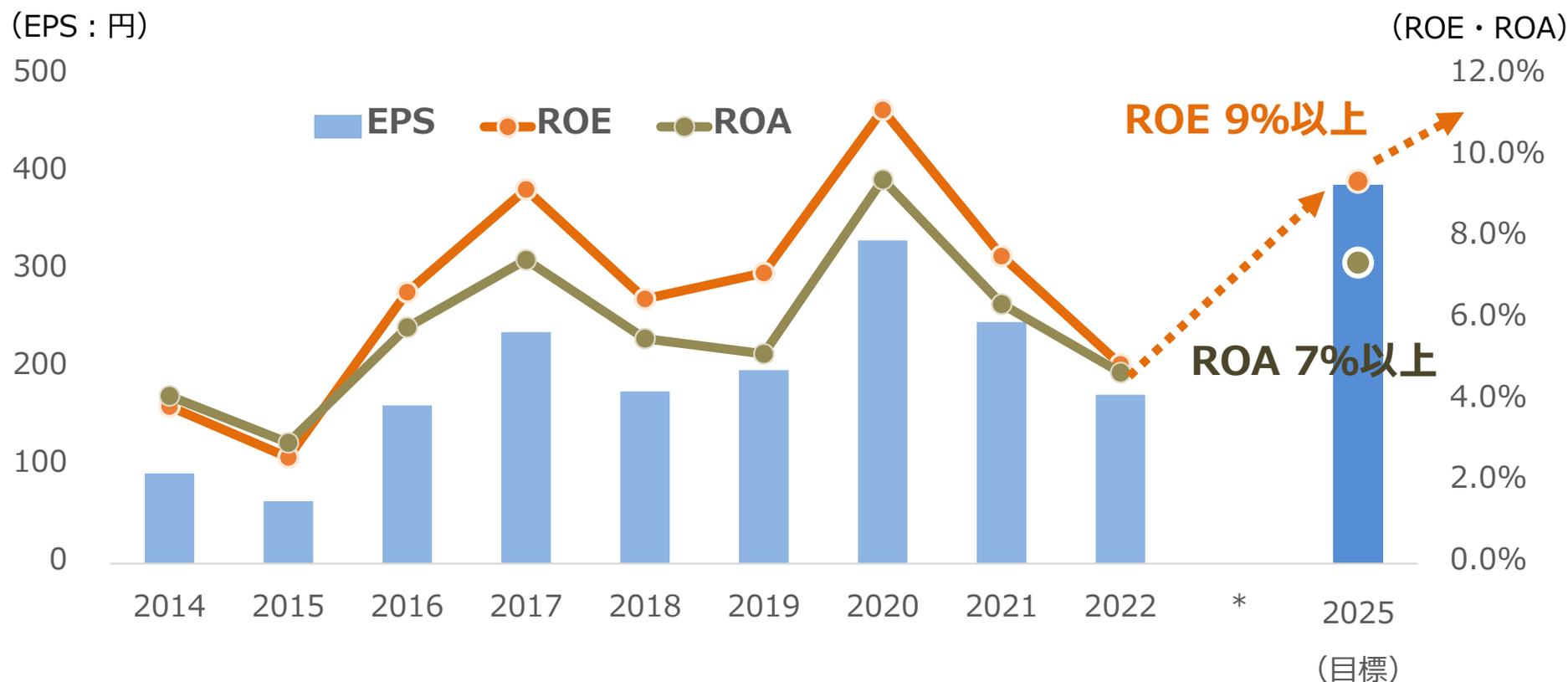
環境変化に強い
事業構造への転換

- ▶ 特定事業分野・
地域等への依存低減

各経営指標とも、原料価格や液晶ディスプレイ関連需要の変動影響を受けて推移
⇒ 収益規模拡大に応じたリスク低減と安定した利益成長が課題

環境変化に耐え得る財務体質の維持と株主資本コストを上回るROE水準の確保

- ▶ 中期：注力分野でのシェア拡大と生産性向上により、ROE 9%以上を実現
- ▶ 長期：業績変動リスク低減を意図したポートフォリオ改革により、ROEを安定化

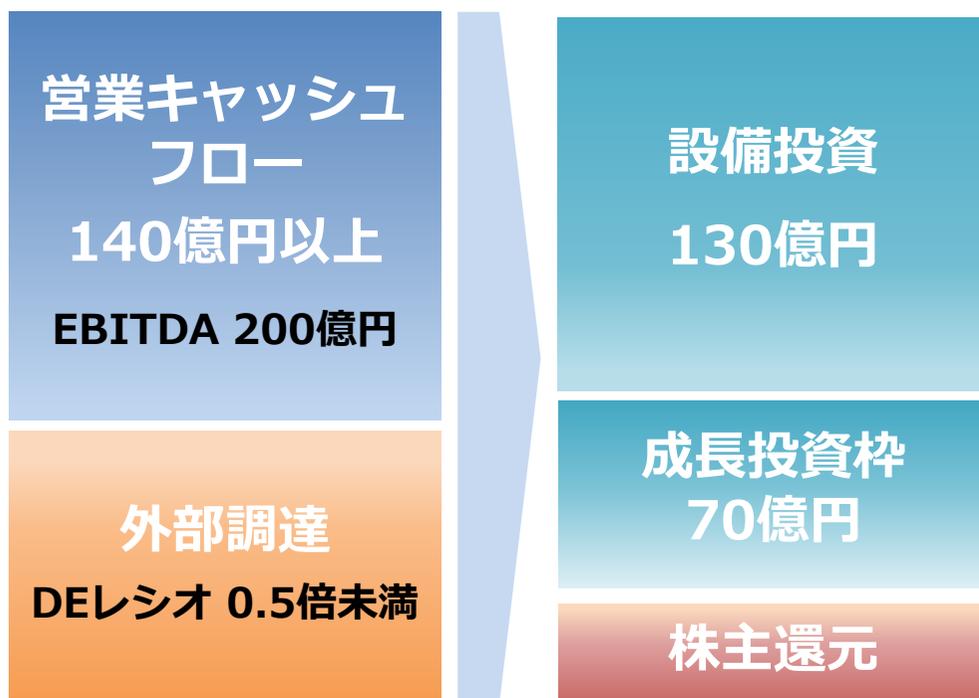


- ◆ 短期的な業績変動に関わらず、既存事業の競争力強化と新たな事業領域の創出に必要な投資を実行する
- ◆ 利益率と資産回転率の改善により、資本効率を高めるとともに、財務健全性を維持しつつ、安定的な配当水準の維持・向上を目指す

2023-25年度 キャッシュフロー

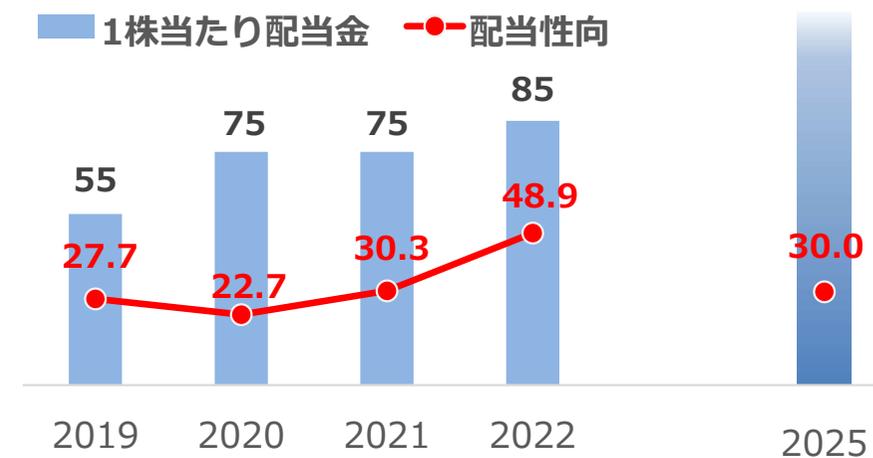
キャッシュ・イン

キャッシュ・アウト



株主還元

事業・利益成長による企業価値向上を図るとともに、安定配当（配当性向30%目安）を維持し、DOE（株主資本配当率）3%を目指す



(目標)

1. 新中期経営計画「Advance 2025」

2. 2023年3月期 連結決算

3. 2024年3月期 業績見通し

2023年3月期 業績

- ✓ 売上高は、価格改定や中国子会社売上高の為替換算額の増加による増収効果があったものの、2Q以降の液晶パネル業界での生産調整の影響を受け減収
- ✓ 営業利益は、原材料価格の上昇に対する価格転嫁を進めたものの、販売数量の減少により減益

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	前期比		2023年3月期 (計画)
			増減	%	
売上高	38,638	38,129	▲509	▲1.3	43,000
営業利益	2,229	2,034	▲195	▲8.7	3,500
営業利益率 (%)	5.8	5.3	▲0.5pt	—	8.1
経常利益	2,744	2,169	▲575	▲21.0	3,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,040	1,436	▲604	▲29.6	2,500
期末為替レート (円/人民元)	18.1	19.1	1.0	—	18.0
国産パネル価格 (千円/KL)	56.8	76.5	19.7	34.6	80.0

2023年3月期 セグメント別売上高

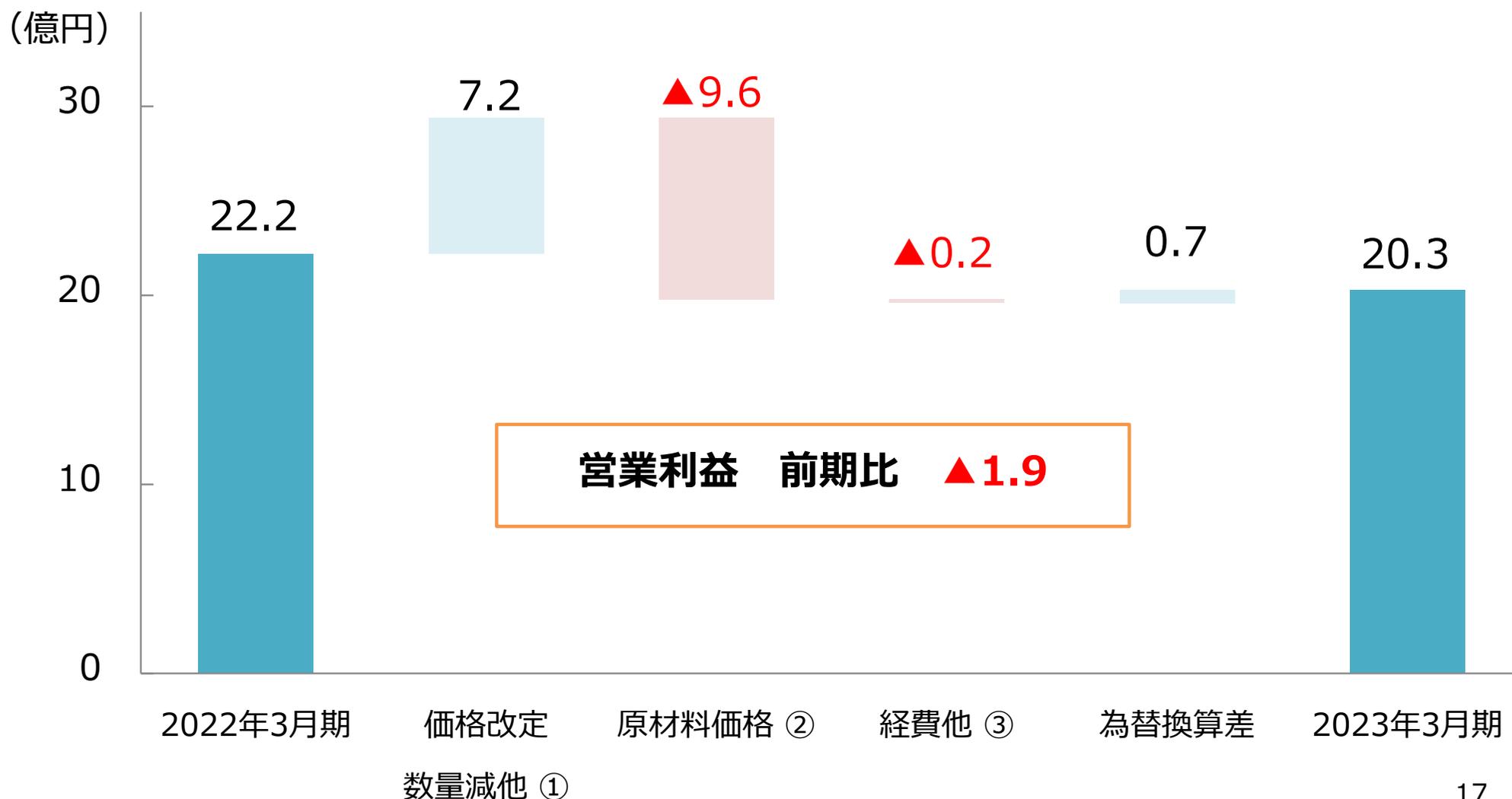
- ✓ ケミカルズ : 粘着剤の価格改定や加工製品の新規案件、円安による増収効果があったものの、液晶ディスプレイ関連や電子部品関連の販売減をカバーできず減収
- ✓ 装置システム : 受注は堅調に推移するも、設備関連の工事完成高が減少

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	前期比		2023年3月期 (計画)
			増減	%	
ケミカルズ	34,215	33,951	▲264	▲0.8	39,300
粘着剤	21,835	22,238	403	1.8	25,700
微粉体	3,021	2,524	▲497	▲16.4	3,000
特殊機能材	3,521	2,776	▲745	▲21.2	3,600
加工製品	5,837	6,411	574	9.8	7,000
装置システム	4,422	4,178	▲244	▲5.5	3,700
合計	38,638	38,219	▲509	▲1.3	43,000

2023年3月期 営業利益分析

- ① 原材料高に対する価格是正による利益改善が進んだものの、販売数量減が利益を圧迫
- ② 上期に原材料価格が高騰したが、下期は下落基調に転じる
- ③ 減価償却費・経費は前期並み



貸借対照表の状況

- ✓ 総資産 : 現預金が減少した一方で、設備投資に伴う有形固定資産の増加に加え、円安に伴う中国子会社資産の為替換算額が増加
- ✓ 負債 : 仕入債務が減少するも、中国子会社での借入金が増加
- ✓ 純資産 : 当期純利益による増加に加えて、円安に伴う為替換算調整勘定が増加

(百万円)

	2022年 3月末	2023年 3月末	増減		2022年 3月末	2023年 3月末	増減
流動資産	27,873	27,288	585	負債	17,234	17,298	63
現預金等	11,203	10,013	▲1,189	仕入債務	8,886	7,576	▲1,309
売上債権	10,425	10,810	385	借入金	3,622	4,534	911
棚卸資産	5,656	5,872	215	退職給付に係る 債務	1,802	1,772	▲29
その他	588	592	3	その他	2,921	3,413	491
固定資産	17,708	19,986	2,277	純資産	28,348	29,977	1,629
有形固定資産	16,135	18,540	2,405	株主資本	26,403	27,249	845
無形固定資産	328	273	▲54	その他の包括利益 累計額	1,944	2,727	783
その他	1,244	1,171	▲72				
資産合計	45,582	47,275	1,692	負債・純資産合計	45,582	47,275	1,692

キャッシュ・フローの状況

- ✓ 営業CF：税金等調整前当期純利益・減価償却費などによる増加、仕入債務の減少と法人税等の支払いなどに伴う減少
- ✓ 投資CF：中国子会社での設備投資に伴う減少
- ✓ 財務CF：中国子会社の設備投資資金の借入れによる増加、配当金支払などによる減少

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,973	2,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,442	▲3,604
フリー・キャッシュ・フロー	530	▲1,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	783	87
現金及び現金同等物に係る換算差額	289	236
現金及び現金同等物の増減額	1,603	▲1,189
現金及び現金同等物の期末残高	11,203	10,013

1. 新中期経営計画「Advance 2025」

2. 2023年3月期 連結決算

3. 2024年3月期 業績見通し

2024年3月期 業績見通し

- ✓ 液晶ディスプレイ関連の需要回復による増収を見込む
- ✓ 活動経費等の増加を見込むものの、販売数量の増加や原材料価格の下落などによる利益改善を見込む

(百万円)

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (見通し)	前期比	
			増減	%
売上高	38,129	40,500	2,371	6.2
営業利益	2,034	3,200	1,166	57.3
営業利益率 (%)	5.3	7.9	2.6pt	—
経常利益	2,169	3,000	831	38.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,436	2,100	664	46.2
期末為替レート (円/人民元)	19.1	19.0	▲0.1	—
1株当たり配当金 (円)	85.0	85.0	0.0	0.0

2024年3月期 セグメント別売上高

- ✓ ケミカルズ : 特殊機能材・加工製品の需要悪化が見込まれるものの、粘着剤の需要回復により増収
- ✓ 装置システム : 前期末までの受注状況、主要顧客の設備投資動向などから、売上高は前期を下回る見込み

(百万円)

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (見通し)	前期比	
			増減	%
ケミカルズ	33,951	36,600	2,649	7.8
粘着剤	22,238	26,000	3,762	16.9
微粉体	2,524	2,500	▲24	▲1.0
特殊機能材	2,776	2,100	▲676	▲24.4
加工製品	6,411	6,000	▲411	▲6.4
装置システム	4,178	3,900	▲278	▲6.7
合計	38,129	40,500	2,371	6.2

2024年3月期 業績見通し（半期推移）

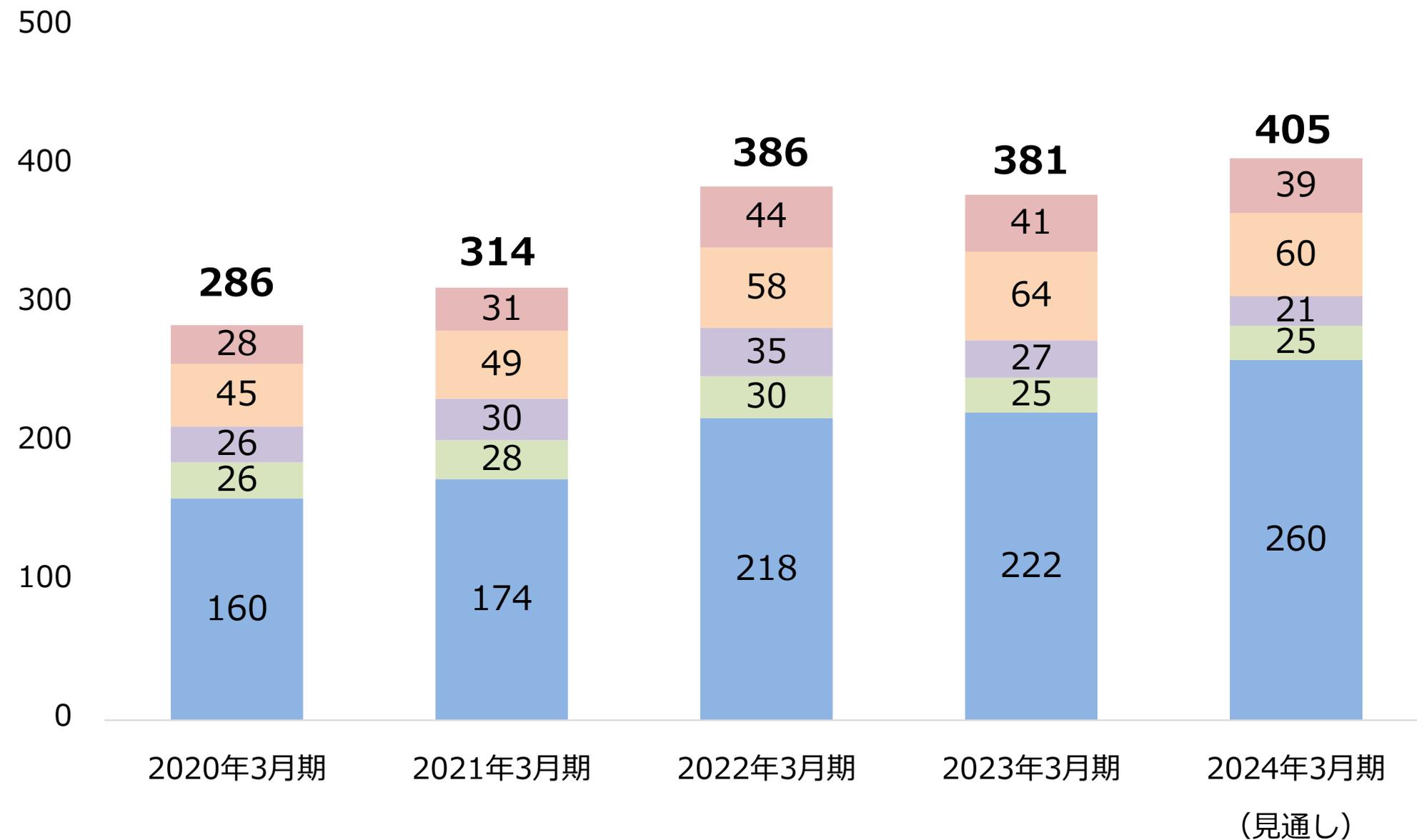


(百万円)

	2023年3月期 (実績)		2024年3月期 (見通し)		前年同期比 増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	19,454	18,675	18,500	22,000	▲954	3,324
ケミカルズ	17,987	15,963	16,600	20,000	▲1,387	4,036
粘着剤	11,372	10,865	12,000	14,000	627	3,134
微粉体	1,442	1,082	1,200	1,300	▲242	217
特殊機能材	1,657	1,118	1,000	1,100	▲657	▲18
加工製品	3,514	2,896	2,400	3,600	▲1,114	703
装置システム	1,466	2,712	1,900	2,000	433	▲712
営業利益	1,087	946	1,250	1,950	162	1,003
営業利益率 (%)	5.6	5.1	6.8	8.9	1.2pt	3.8pt
経常利益	1,452	717	1,150	1,850	▲302	1,132
当期純利益	1,080	356	850	1,250	▲230	893

商品ユニット別売上高推移

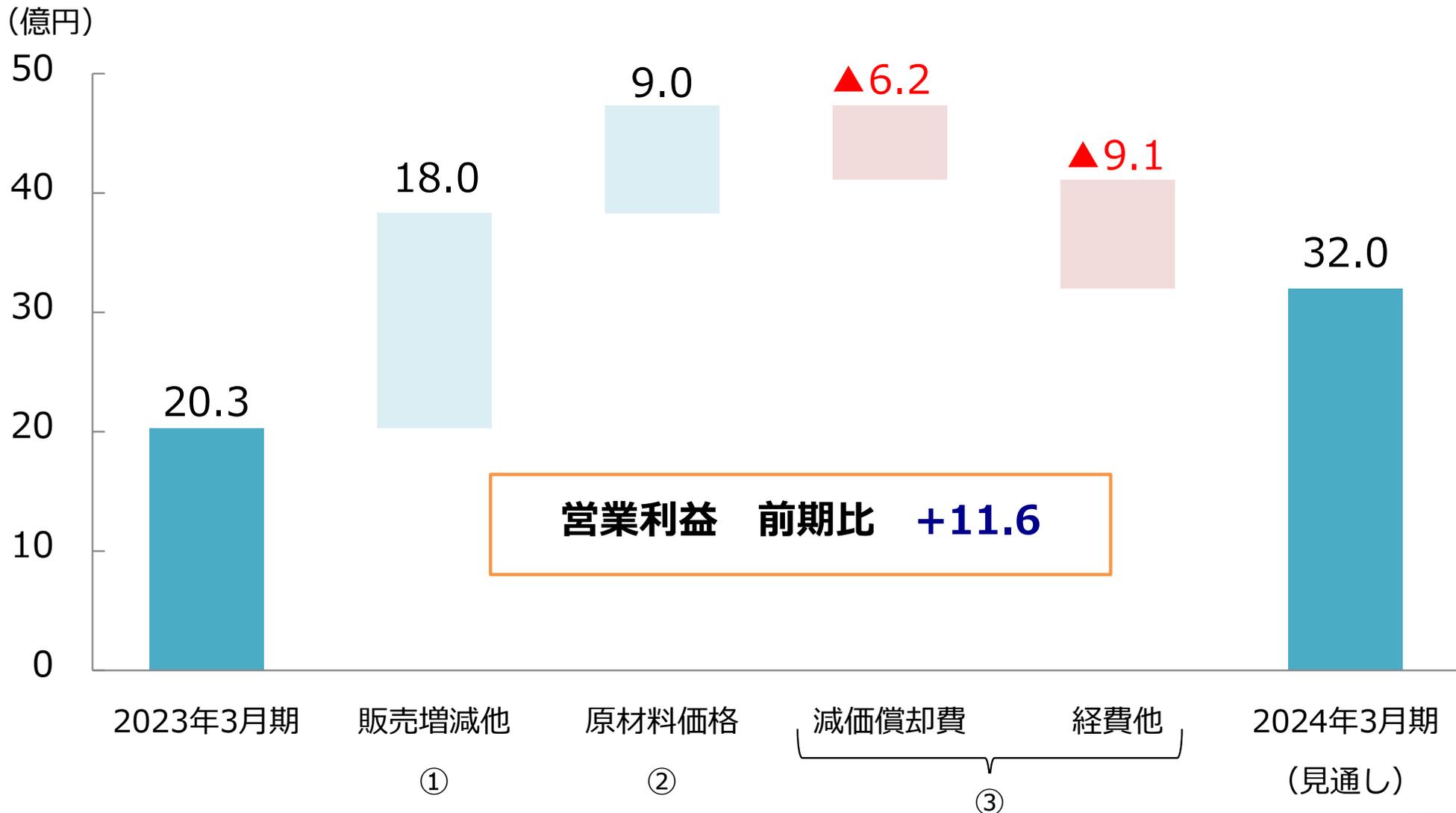
(億円)

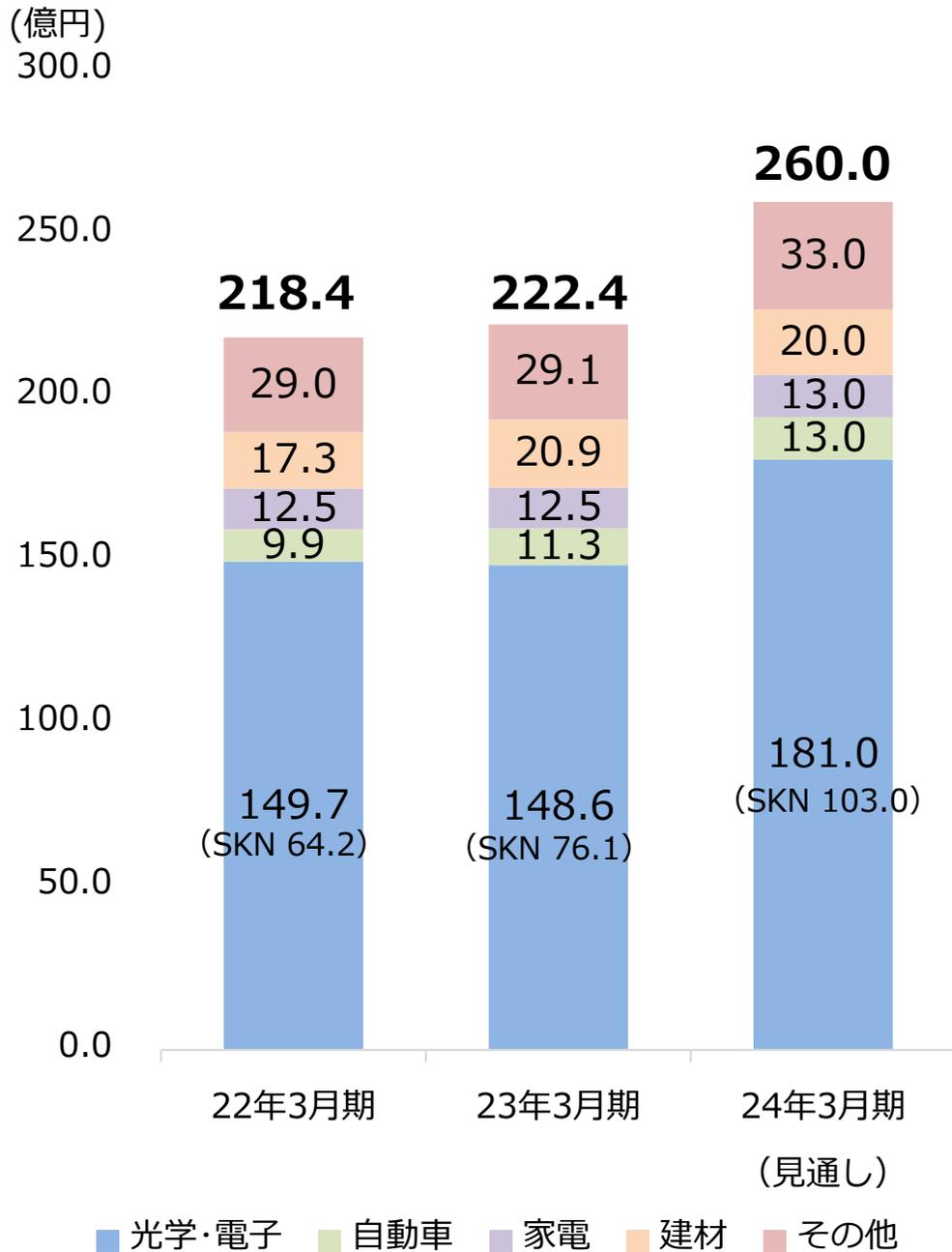


■ 粘着剤 ■ 微粉体 ■ 特殊機能材 ■ 加工製品 ■ 装置システム

2024年3月期 営業利益分析

- ① 特殊機能材・加工製品は減益を見込むも、液晶ディスプレイ用粘着剤の増益が寄与
- ② 前期の下期以降、原材料価格が下げ傾向で推移したことを踏まえて改善を見込む
- ③ 中国工場の設備稼働に伴う減価償却費の増加、人材投資・活動経費等の増加





※ SKN：中国子会社 綜研高新材料（南京）

(億円)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (見通し)	増減
光学・電子	148.6	181.0	32.4
自動車・建材他	73.8	79.0	5.2
合計	222.4	260.0	37.6

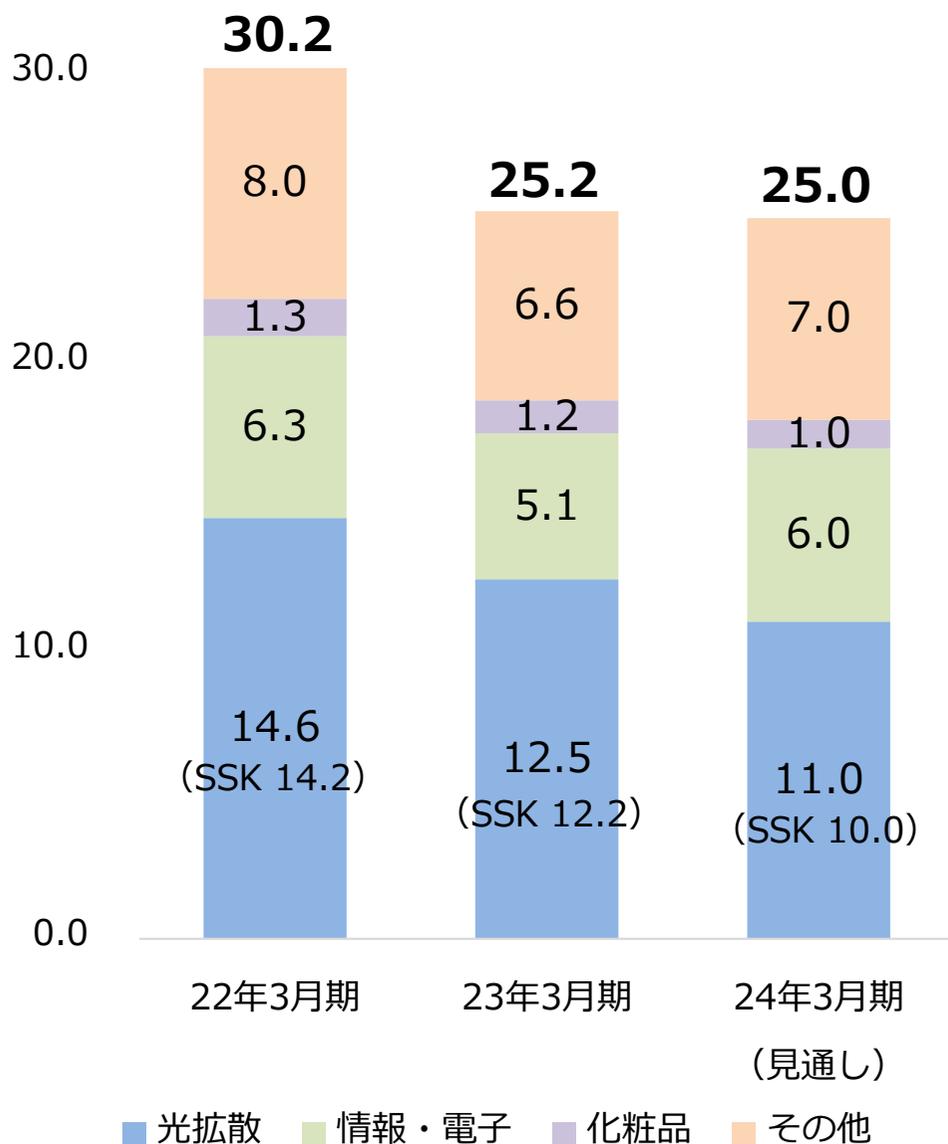
2023年3月期の概況

- 液晶パネル市況悪化により、偏光板・周辺用途の販売数量が減少
- 建材用途は新規案件により増販も、自動車・家電用途は市況低迷により減販
- 価格改定の効果が寄与し、前期比増収

2024年3月期の取り組み

- 液晶関連は需要回復傾向で推移、その他は緩やかに回復
- 中国南京工場の増強設備による需要拡大への対応
- 自動車・建材用途の低シェア分野での販売拡大
- 環境配慮型製品の拡充、新たな環境対応ニーズの調査・探索

(億円)



※ SSK：中国子会社 綜研化学（蘇州）

(億円)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (見通し)	増減
光拡散	12.5	11.0	▲1.5
情報・電子他	12.7	14.0	1.3
合計	25.2	25.0	▲0.2

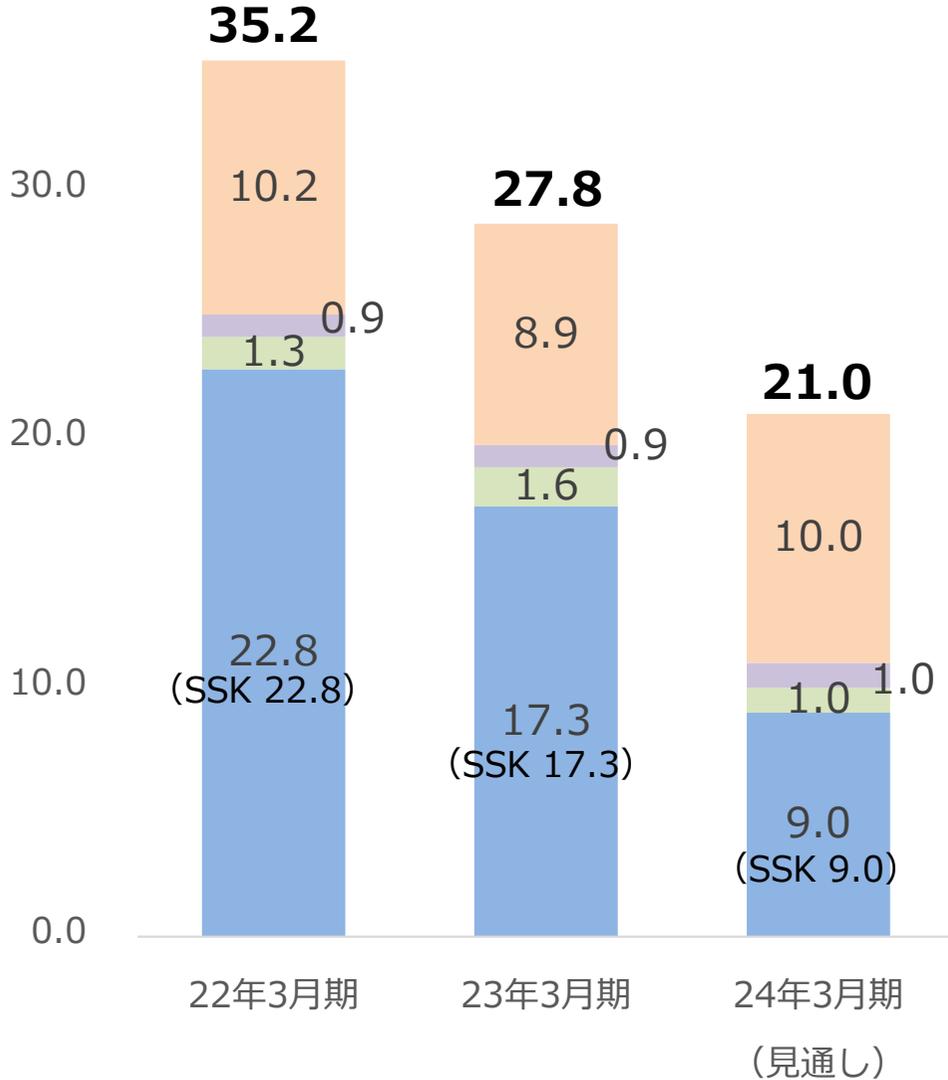
2023年3月期の概況

- 光拡散用途の需要減少により、販売数量が減少
- 情報・電子分野は、MLCC等の電子部品関連の需要低迷により減販

2024年3月期の取り組み

- 主力の光拡散用途での需要低迷が継続
- 低調な光拡散用途での生産合理化による利益確保
- 環境配慮型新製品の採用獲得
- 情報・電子分野（MLCC等）での顧客開拓

(億円)
40.0



■ 電子回路材料 ■ 建材 ■ 導電性樹脂 ■ その他

※ SSK：中国子会社 綜研化学（蘇州）

(億円)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (見通し)	増減
電子回路材料	17.3	9.0	▲8.3
建材他	10.5	12.0	1.5
合計	27.8	21.0	▲6.8

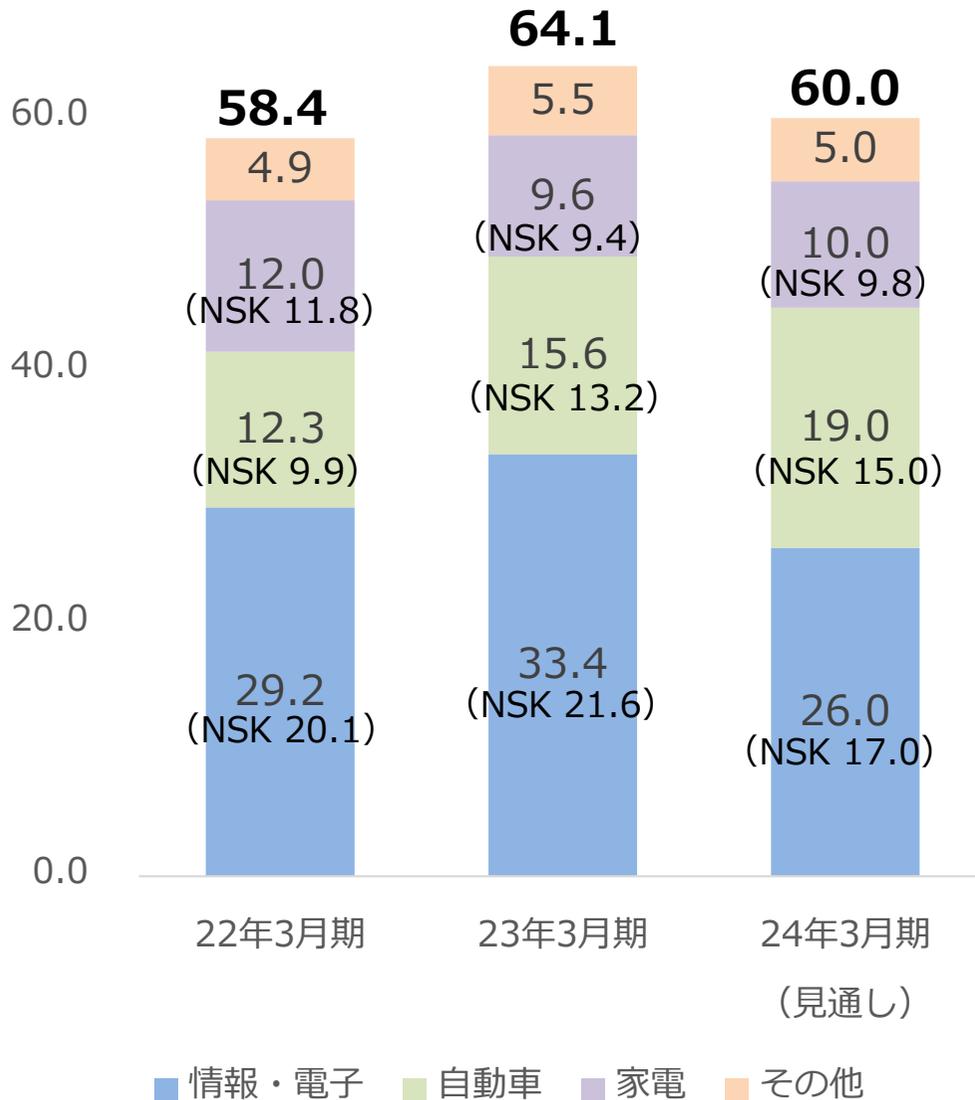
2023年3月期の概況

- 中国スマートフォン市況の悪化により、電子回路材料用途の需要が減少
- 高収益な電子部品・光学関連用途等が需要低迷により販売減少

2024年3月期の取り組み

- 電子回路材料用途の需要悪化、短期的な回復は見込めず減販
- 中国情報・電子分野での導電性樹脂・焼成樹脂等による用途・顧客開拓に注力
- 中国研究開発センターの製品開発・技術対応力の強化
- 植物由来の抗菌・抗ウイルス材料等での新規事業領域の探索

(億円)
80.0



※ NSK：中国子会社 寧波綜研化学

(億円)

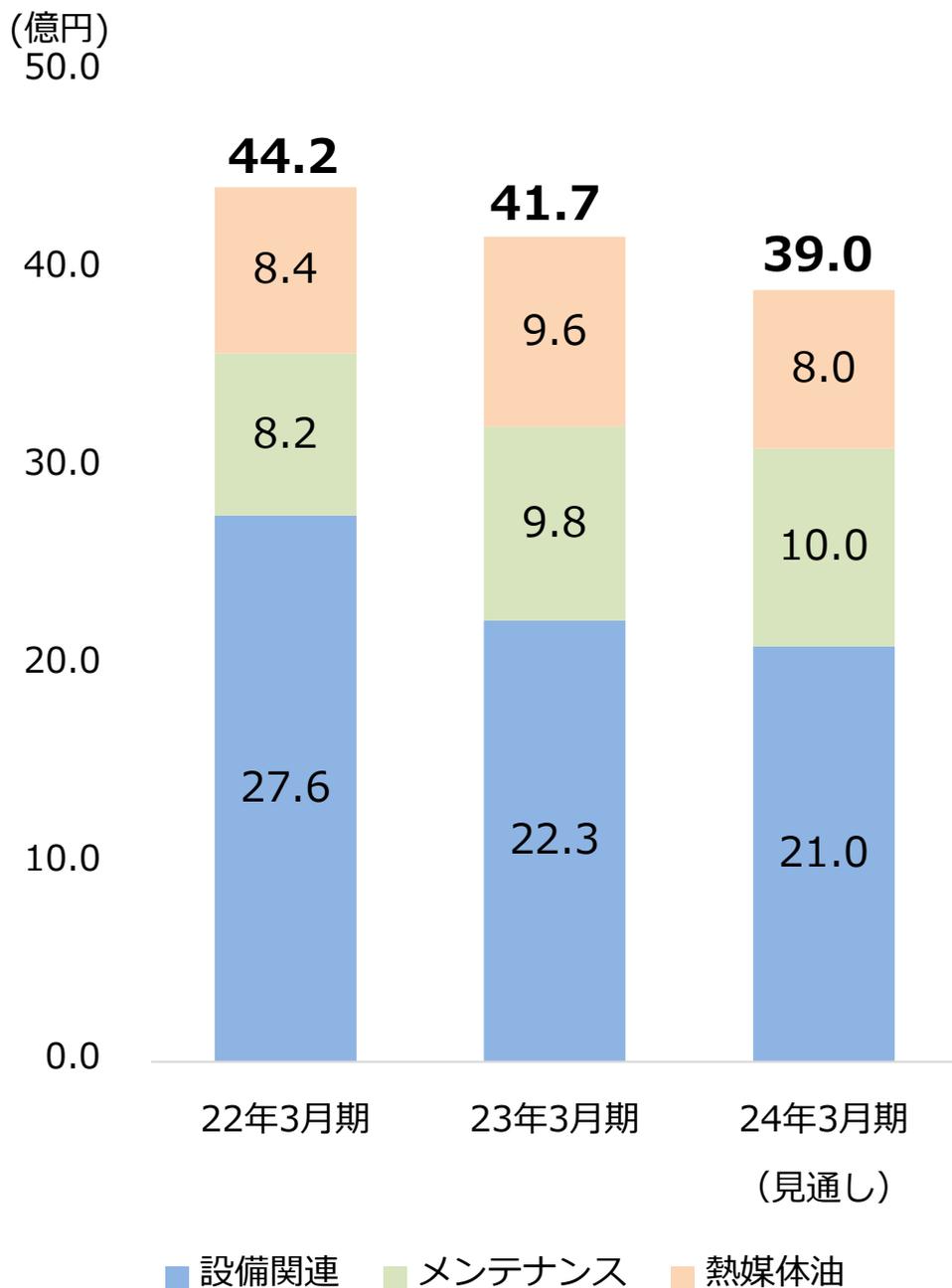
	23年3月期 (実績)	24年3月期 (見通し)	増減
情報・電子	33.4	26.0	▲7.4
自動車他	30.7	34.0	3.3
合計	64.1	60.0	▲4.1

2023年3月期の概況

- 情報・電子分野は中国スマートフォン関連が需要減少も、電子表示用途の新規案件が伸長
- 中国自動車分野は空調・内装用途での新規案件等により販売増加

2024年3月期の取り組み

- 中国スマートフォンの市況低迷、電子表示用途の在庫調整により減販
- 環境配慮型製品による中国自動車市場での更なる販売拡大
- EV化が加速する中国自動車市場での新たなニーズ探索・製品開発
- 粘着・塗工技術を応用した新たな技術・製品開発



※ 2023年3月期からボイラーは設備関連に含めています。

(億円)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (見通し)	増減
設備関連	22.3	21.0	▲1.3
メンテナンス・ 熱媒体油	19.4	18.0	▲1.4
合計	41.7	39.0	▲2.7

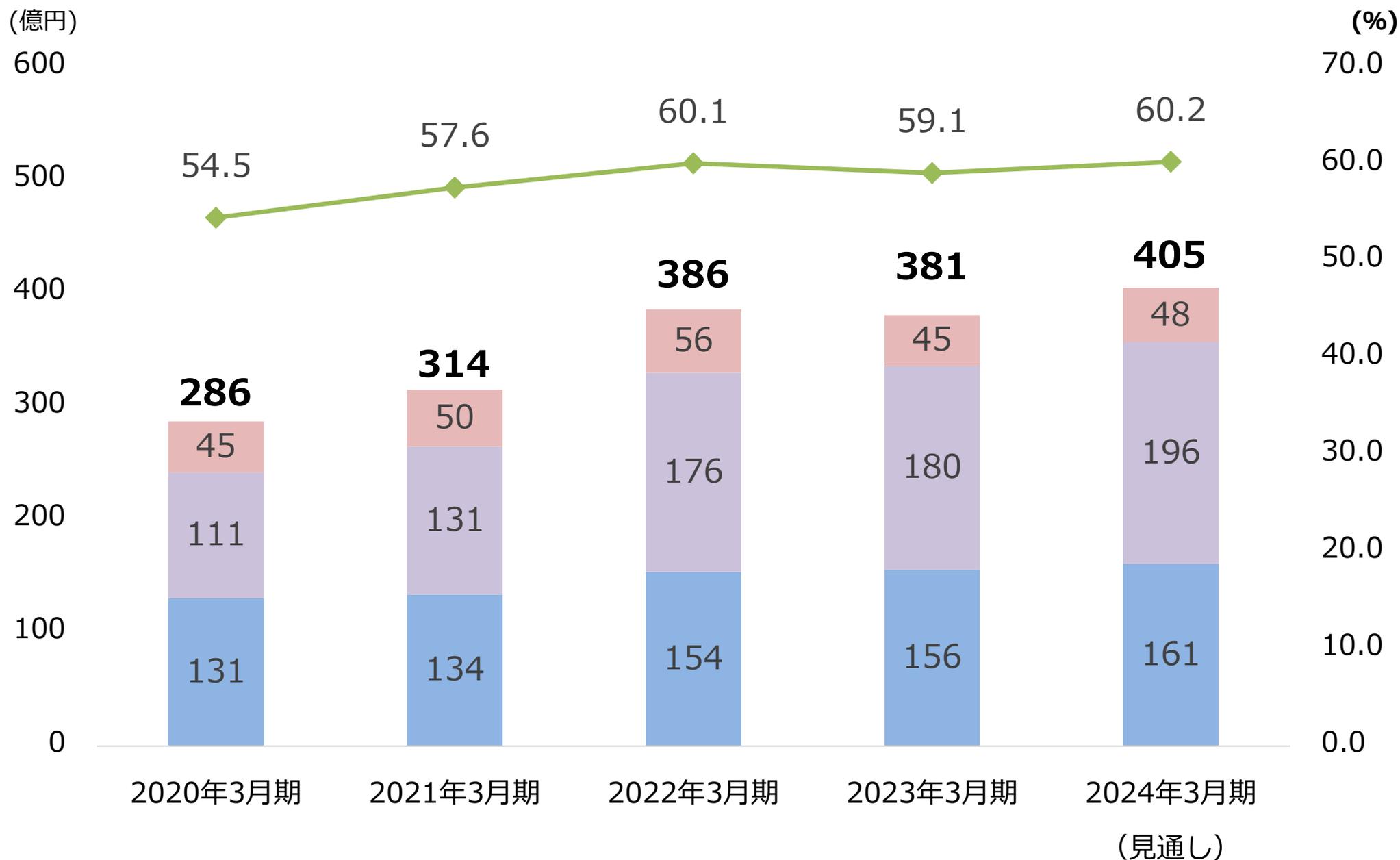
2023年3月期の概況

- 受注高・受注残高は高水準を確保も、設備関連の工事完成高が減少
- 診断サービスや価格改定等によるメンテナンス・熱媒体油の増販

2024年3月期の取り組み

- メンテナンスでの設備診断サービスの拡充
- 環境配慮型の熱媒体油（再生加工品）の販売拡大
- 他社協業等による新たな商品・サービスの企画・開発推進

海外売上高推移

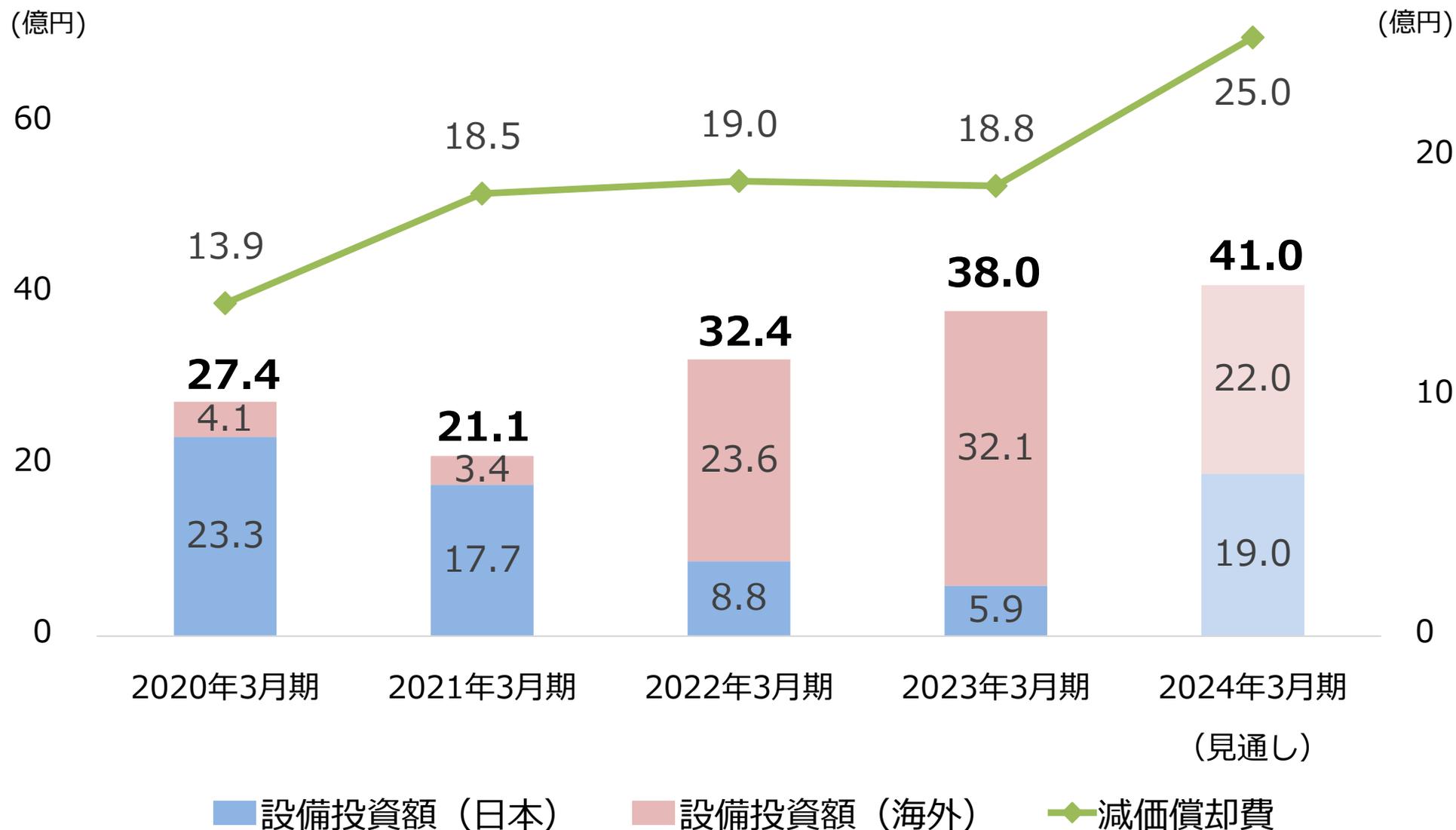


■ 売上高 (日本)

■ 売上高 (中国)

■ 売上高 (その他)

◆ 海外比率



主な設備投資 (2024年3月期 計画)

生産設備増強・合理化・更新 20億円、安全・環境対策 7億円、
 研究・技術開発他 8億円、IT関連 6億円

(注) 本資料中の予想は、決算発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

<お問い合わせ先>

綜研化学株式会社 IR・広報室

T E L 03-3983-3268

E-mail ir-soken@sokenchem.com

U R L <https://www.soken-ce.co.jp/>